

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

（個別項目）

a. 企業間の連携（オープンイノベーション、M&A等の事業承継支援 等）

取組内容：

当社は、海外のホップや麦芽などの原材料を取り扱う商社を通じて安定的な調達を行いながら、価格高騰時にも一方的な負担を求めず、相互に配慮した取引を心がけています。また、OEMでの受託製造を通じて他ブランドの支援も行い、共に成長する関係性を構築しています。卸先である飲食店や酒販店とも密に連携し、販促支援や共同イベントの実施などを通じて売上拡大を図り、規模や業種を超えた共存共栄を目指しています。今後は観光業や地域産品との連携にも取り組み、新たな市場開拓に挑戦していきます

b. IT実装支援（共通EDIの構築、データの相互利用、IT人材の育成支援、サイバーセキュリティ対策の助言・支援 等）

取組内容：

ECプラットフォーム「STORES」の導入により、一般消費者との直接取引を可能とし、販路の多角化を進めています。また、InstagramやX（旧Twitter）などSNSを活用して取引先と連携した情報発信やキャンペーン展開を行うことで、デジタル面からも販売促進に貢献しています。

2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

①価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者と少なくとも年に1回以上の協議を行うとともに、下請事業者の適正な利益を含み、下請事業者における労働条件の改善が可能となるよう、十分に協議して決定します。その際、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」に掲げられた行動を適切にとった上で決定します。また、原材料費やエネルギーコストの高騰があった場合には、適切なコスト増加分の全額転嫁を目指します。なお、取引対価の決定を含め契約に当たっては、契約条件の書面等による明示・交付を行います。

②手形などの支払条件

下請代金は可能な限り現金で支払います。手形等で支払う場合には、割引料等を下請事業者の負担とせず、また、支払サイトを 60 日以内とします。

③知的財産・ノウハウ

「知的財産取引に関するガイドライン」に掲げられている「基本的な考え方」や、「契約書ひな形」を踏まえて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

④働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

3. その他（任意記載）

当社は、地域の農産物や文化資源を活用したクラフトビールの開発に取り組んでいます。地元の生産者や観光事業者との連携を強化し、地域経済の活性化に貢献するとともに、地域の魅力を発信しています。また、EC プラットフォームや SNS を積極的に活用し、販路の多角化と情報発信を推進しています。原材料価格の変動にも柔軟に対応し、取引先との信頼関係を大切にして、持続可能なサプライチェーン構築に努めています。さらに、社員の働きやすさにも配慮し、持続可能な企業経営を目指しています。

令和 7 年 7 月 2 日

株式会社 JouZo

企 業 名

代表取締役 住友 正伯

役職・氏名（代表権を有する者）

（備考）

- ・本宣言は、（公財）全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイトに掲載されます。
- ・主務大臣から「振興基準」に基づき指導又は助言が行われた場合など、本宣言が履行されていないと認められる場合には、本宣言の掲載が取りやめになることがあります。